

[農業と環境]

[No.] 種子のつくりと働きに関する記述について () 内に当てはまる語句として最も妥当なものはどれか。

種子は、胚と養分貯蔵組織などからできている。イネなどの有胚乳種子では胚乳が、ダイズなどの無胚乳種子では () が養分の貯蔵組織となる。

1. 胚軸
2. 幼芽
3. 子葉
4. 幼根
5. 種皮

[No.] 正解：3

[農業と環境]

[No.] 作物の科名と作物名の組合せとして正しいものはどれか。

- | | | |
|-----------|---|-------------|
| 1. ナス科 | ー | トマト、ラッカセイ |
| 2. キク科 | ー | レタス、キャベツ |
| 3. アブラナ科 | ー | ハクサイ、ホウレンソウ |
| 4. ヒガンバナ科 | ー | タマネギ、パセリ |
| 5. バラ科 | ー | リンゴ、カスミソウ |

[No.] 正解：1

[農業と環境]

[No.] 作物の呼吸に関する記述として最も妥当なものはどれか。

1. 生命活動を支えるエネルギーをとり出す働きのことである。
2. 葉の気孔から大気中に水分を放出する働きのことである。
3. 根の表皮組織に密生している根毛から土中の養水分を吸収する働きのことである。
4. 貯蔵デンプンなどを根や種子にたくわえている状態のことである。
5. たねの発芽、球根や芽のほう芽が抑制された状態のことである。

[No.] 正解：1